

	マテリアリティ	関連する個別課題	マテリアリティに関わるSDGs	マテリアリティに対する具体的な取り組み方針	KPI	2027年度 目標	2025年度 実績
社 会	持続可能な社会インフラへの貢献	・地域社会・企業との連携 ・ICTによる技術力と生産性の向上 ・施工品質の確保・高度化 ・不動産ストックの有効活用	  	変わりゆく社会のニーズを正しく捉え、これまでに培った技術を駆使し高品質かつ長寿命な社会インフラを構築することに加え、老朽化するインフラや既存建築物の維持更新・改修、不動産ストックの有効活用にも積極的に取り組むなど、総合インフラストラクチャー企業として持続可能な社会基盤づくりに貢献します。	 土木事業 売上高・利益	1,200億円	1,152億円
					 建築事業 売上高・利益	1,850億円	1,801億円
					 不動産事業等 売上高・利益	220億円	118億円
環 境	環境に配慮した事業の推進	・脱炭素化の推進 ・リサイクルによる資源の有効利用 ・建築物の省エネルギー設計 ・再生可能エネルギー事業の推進	  	『人と地球に優しい環境の創造と保全』の基本理念のもと、建設施工段階のCO ₂ 排出量の削減やZEB等による建築物の省エネルギー設計、環境関連の技術開発の推進に加え、再資源化等の資源の有効活用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた施設運営にも積極的に取り組むなど、脱炭素社会の実現に向け、環境に配慮した事業推進を図ります。	施工段階・オフィスにおけるCO ₂ 排出量	4.8万t-CO ₂ 以下	5.0万t-CO ₂
					建設混合廃棄物の建築新築工事延床面積あたりの排出原単位	継続的に3kg/m ² 以下を目指す	1.5kg/m ²
					設計施工案件のZEB化提案率	50%以上	33.3%
社 会	ウェルビーイングを実現する職場づくり	・ディーセントワークの推進 ・ダイバーシティ経営の推進 ・機械化・省力化・効率化の推進 ・安心安全な労働環境	 	安心安全で働きがいのある労働環境を確保するとともに、女性をはじめ多様な人材が個々の能力を最大限に発揮し、全ての社員が健康で生き生きと活躍できる職場環境を整備するなど、ウェルビーイングを実現する職場づくりを推進します。	新卒3年以内の離職率	10%未満	13.0%
					管理職に占める女性比率	6%以上	5.1%
					新卒採用者に占める女性比率	20%以上（各年度）	12.8%
					男性の育児休業取得率	100%以上（各年度）	102.8%
					工事所4週8閉所実施率(土木)	90%以上	72.3%
					工事所4週8閉所実施率(建築)	70%以上	59.0%
ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの強化	・安心安全な労働環境	 	当社グループは、『社会から必要とされ続ける企業』であることを目指し、経営の公正性・透明性の確保と企業価値の向上のために、企業行動規範に則り、アカウンタビリティを最重視した取締役会の意思決定、監査等委員会のモニタリングを通じてコーポレート・ガバナンスの充実を図ることとしています。役職員に対しては引き続きコンプライアンス意識向上を図るための教育を徹底し、企業倫理に則った誠実な事業活動を推進することで、コーポレート・ガバナンスの実効性を高め、ステークホルダーからの信頼獲得に努めていきます。	死亡災害の発生件数	0件（各年度）	0件
					安全成績 度数率	0.50以下（各年度）	0.37
					コンプライアンス研修受講率	100%（各年度）	100%
					情報セキュリティ研修受講率	100%（各年度）	100%